

学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 岐阜市立岐阜商業高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和7年6月11日（水）13時30分～15時00分
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 3 開催場所 本校 会議室

- 4 参加者
- | | | |
|-----|-------|---------------------|
| 会 長 | 竹本 康史 | 岐阜聖徳学園大学教授 |
| 委 員 | 桐生 伸治 | 鏡島自治会連合会会長 |
| 〃 | 山内 義孝 | (株)サムソンフィクセル代表取締役社長 |
| 〃 | 臼井こずえ | 西児童センター所長 |
| 〃 | 片野 里美 | 前PTA副会長 |
| 〃 | 馬場 伸也 | PTA会長 |

<学校側>

副会長	長澤 紀明	校長
委 員	八田健二郎	事務長
〃	豊吉 利之	教頭
〃	野村 昌史	教務主任
〃	寺澤 裕紀	生徒指導主事・いじめ対策監
〃	澤田 幸男	進路指導主事
〃	平松 京美	商業科主任

- 5 目 的 保護者や地域住民と目標やビジョンを共有して連携を深め、家庭や地域と一体となって生徒を育む「家庭・地域とともにある学校づくり」を推進する。

6 会議の概要（協議事項）

（1）会長及び副会長等の選出

（2）学校経営計画を踏まえた学校運営と教育活動について

- 令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画、校務分掌の方針と重点、教育課程等について説明する。

意見1：毎年、本校の生徒が鏡島地域の行事に参加してくれ頼もしく感じている。今後は小学校での夏祭り、高齢者福祉協議会の「ほっこりサロン」、相撲のフェスティバルなどの行事に積極的に参画してくれることを期待している。また、本校生徒は挨拶が素晴らしく、地元の小学校との交流後は、児童が高校生を手本にして元気な挨拶ができるようになった。挨拶は地域の防犯にも役立っている。

意見2：教育活動において生徒が主体性を身に付ければ、将来職場で働く際にも必ず役に立つ。またアントレプレナーシップ（起業家教育）は魅力的でチャンスだと思うが、一方で社会経済を取り巻く環境が変化しているため、リスクがあることも併せて理解させてほしい。

意見3：本校は、生命の大切さや生徒の主体性を育むことを重視しているが、絵本の読み聞かせや演奏会で当児童センターに来てくれる本校の生徒は、乳幼児や児童と主体的に交流する中で、命の大切さを学んでくれている。

意見4：保護者の立場として、子どもが商業に関する様々な資格を取得でき、それが子どもの自信につながっていると感じる。また、進路決定に際し大学等のオープンキャンパスに2回以上参加する方針については、実際に学校に行くことで雰囲気などを感じることができ、比

較判断するための情報が得られるため視野が広がる。

意見 5：生徒が明るく楽しく授業に取り組んでいる。「商業高校出身でよかった」「商業教育は魅力があり必要だ」ということを、ICTを使って発信すると中学生に興味をもってもらえるのではないかと。また、校舎が老朽化しているので改修できるとよい。

意見 6：本校生徒の部活動に対する満足度はどの程度か。部活動は人間関係の形成や人間的な成長を育む場であるが、怪我などにより途中で諦めてしまう状況はあるか。

⇒部活動の満足度に関する調査は行っていないが、ある部活動では怪我で練習ができなくなった生徒に対して、部顧問の支援や仲間の協力により部の一員としてできることを考え部に貢献している例がある。また、満足度の調査については、3年生の卒業時に、部活動のことも含め高校生活全般に関するアンケートをとりたい。

(3) 学校指定のカーディガンの新規導入について

- ・学校指定のカーディガンを新規に導入することや、生徒・保護者・教員から意見を聴取し、着こなしに関するルールづくりを行うことについて報告する。

7 会議のまとめ

- (1) 会長、副会長、支援推進コーディネーターに次の3名が選出され、全委員より承認が得られた。

会長：竹本 康史 副会長：長澤 紀明 支援推進コーディネーター：桐生 伸治

- (2) 第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- (3) 第2回では、今年度の取組についての成果と課題の報告及び次年度に向けて改善策や助言等を得る予定である。